

- 問1 次のうち、正しいのはどれか。
1. 染色体には、DNA（デオキシリボ核酸）が含まれている。
  2. ゴルジ装置は核の中にある。
  3. ミトコンドリアは、たんぱく質を合成する。
  4. リボソームは、たんぱく質を分解する。
- 問2 次のうち、椎骨が12個なのはどれか。
1. 頸椎
  2. 胸椎
  3. 腰椎
  4. 仙椎
- 問3 次のうち、肘関節を屈曲させるはたらきがあるのはどれか。
1. 上腕二頭筋
  2. 上腕三頭筋
  3. 三角筋
  4. 大胸筋
- 問4 血液の成分とその役割について、正しい組合せはどれか。
1. 赤血球 —— 血液凝固
  2. 白血球 —— 二酸化炭素の運搬
  3. 血小板 —— 生体防御
  4. 血漿 —— 老廃物の運搬
- 問5 次のうち、正しいのはどれか。
1. 肺動脈は静脈血が流れる。
  2. 肺静脈の血液は右心房へ流れる。
  3. 左心室の血液は大静脈へ流れる。
  4. 僧房弁は右房室口にある。
- 問6 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 鼻腔は気道に含まれる。
  2. 左肺は3つの肺葉に分かれている。
  3. 呼吸は、肋間筋と横隔膜の協調運動によって行われる。
  4. 肺胞でガス交換が行われる。
- 問7 臓器とそのはたらきについて、正しい組合せはどれか。
1. 食道 —— アミラーゼの分泌
  2. 肝臓 —— インスリンの分泌
  3. 胃 —— 栄養素の貯蔵
  4. 小腸 —— 栄養素の吸収

- 問 8 腎臓について、誤っているのはどれか。
1. 腹膜腔内にある。
  2. 腎臓の実質は皮質と髄質からなる。
  3. 腎小体は糸球体とボウマン嚢（糸球体嚢）からなる。
  4. 糸球体は輸入細動脈と輸出細動脈が出入りする。
- 問 9 生殖器について、正しいのはどれか。
1. 精子形成は正常体温よりやや低い温度が適している。
  2. 精巣はアドレナリンを分泌する。
  3. 子宮はエストロゲンを分泌する。
  4. 正常な受精は卵巣で行われる。
- 問 10 次のうち、正しいのはどれか。
1. 脂質のエネルギー値は 1 g につき 4 kcal である。
  2. 不飽和脂肪酸の過剰摂取によって動脈硬化が促進する。
  3. 不飽和脂肪酸は常温では固体の状態である。
  4. ドコサヘキサエン酸（DHA）は中性脂肪を低下させる。
- 問 11 ビタミンとその欠乏症について、誤っている組合せはどれか。
1. ビタミンB<sub>2</sub> \_\_\_\_\_ 口内炎
  2. ビタミンB<sub>12</sub> \_\_\_\_\_ 脚気
  3. ナイアシン \_\_\_\_\_ ペラグラ
  4. 葉酸 \_\_\_\_\_ 巨赤芽球性貧血
- 問 12 疾患別の食事療法について、誤っているのはどれか。
1. 膵炎は、アルコールの摂取を制限する。
  2. 高血圧症は、塩分の摂取を制限する。
  3. 閉塞性黄疸は、たんぱく質の摂取を制限する。
  4. 鉄欠乏性貧血は、ヘム鉄を多く含む動物性食品を摂取する。
- 問 13 次の薬物と適応疾患について、誤っている組合せはどれか。
1. ファモチジン \_\_\_\_\_ 胃・十二指腸潰瘍
  2. クロルフェニラミン \_\_\_\_\_ アレルギー性鼻炎
  3. アドレナリン \_\_\_\_\_ アナフィラキシーショック
  4. ニフェジピン \_\_\_\_\_ 脂質異常症（高脂血症）
- 問 14 次のうち、正しいのはどれか。
1. 劇薬は、鍵のかかる保管庫に保管しなければならない。
  2. 薬物代謝が主に行われるのは、膵臓である。
  3. 静脈注射は、注射法の中で最も速く薬物の効果が現れる。
  4. 小児は、成人に比べて薬物感受性が低い。

- 問 15 次の消毒液のうち、ウイルスに有効でないのはどれか。
1. ホルマリン
  2. グルタルアルデヒド（グルタラール）
  3. 次亜塩素酸ナトリウム
  4. クロルヘキシジン
- 問 16 遺伝子異常による疾患でないのはどれか。
1. マルファン症候群
  2. イタイイタイ病
  3. フェニルケトン尿症
  4. 血友病
- 問 17 門脈圧亢進症の症状でないのはどれか。
1. 食道静脈瘤の形成
  2. 腹壁静脈の怒張
  3. 腹水の貯留
  4. 脾臓の萎縮
- 問 18 平成29年（2017年）の日本人男性のがん死亡数が第1位である部位はどれか。
1. 胃
  2. 大腸
  3. 肺
  4. 膵
- 問 19 消化管のがんについて、正しいのはどれか。
1. リンパ節に転移がないことが早期胃がんの条件である。
  2. 進行胃がんはボールマン分類により3つの型に分類される。
  3. 大腸がんは上行結腸や横行結腸に多い。
  4. 大腸がんの進行度の評価には、デュークス分類がある。
- 問 20 次のうち、正しいのはどれか。
1. 再生不良性貧血は、赤血球の破壊が亢進することで生じる。
  2. 急性リンパ性白血病は、高齢者に多い。
  3. 慢性骨髄性白血病の特徴として、フィラデルフィア染色体がみられる。
  4. わが国では、非ホジキンリンパ腫よりホジキンリンパ腫の発生頻度が高い。
- 問 21 次のうち、正しいのはどれか。
1. 硬膜外血腫は、硬膜とクモ膜との間にできた血腫である。
  2. クロイツフェルト-ヤコブ病（CJD）は、ウイルスの感染が原因である。
  3. アルツハイマー病は、大脳皮質の神経細胞の萎縮と脱落が認められる。
  4. 脳腫瘍の中で最も悪性度が高いのは、髄膜腫である。

問 22 病原体と主な感染経路について、誤っている組合せはどれか。

1. 赤痢菌 ————— 経口感染
2. 百日咳菌 ————— 飛沫感染
3. 結核菌 ————— 空気感染
4. 梅毒トレポネーマ —— 昆虫媒介感染

問 23 次のうち、二類感染症に指定されているのはどれか。

1. エボラ出血熱
2. コレラ
3. 結核
4. デング熱

問 24 次のうち、誤っているのはどれか。

1. 滅菌は、すべての微生物を殺すことをいう。
2. 消毒は、微生物の数を減少させることをいう。
3. 煮沸消毒を100℃で5分間行くと、芽胞は死滅する。
4. 乾熱滅菌法は、主に試験管などのガラス製品に適用される。

問 25 「国際看護師協会（ICN）看護師の倫理綱領（2012年版）」の本文で述べられている倫理綱領の基本領域について、誤っているのはどれか。

1. 看護師と患者
2. 看護師と実践
3. 看護師と看護専門職
4. 看護師と協働者

問 26 臓器移植について、誤っているのはどれか。

1. 15歳未満の臓器提供は、家族の同意があれば可能である。
2. 脳死は、脳の機能が不可逆的に停止した状態である。
3. わが国の臓器移植は、「臓器の移植に関する法律」に基づき実施される。
4. 臓器提供者のことをレシピエントという。

問 27 防衛機制について、正しいのはどれか。

1. 抑圧は、別の人のパーソナリティーの特性や要素を自分のものとして取り入れ、一体化することである。
2. 退行は、意識することが苦痛な観念を無意識下に追いやることである。
3. 投影は、自己の中の受け入れがたい感情を抑圧し、他に移しかえることである。
4. 合理化は、抑圧された情動を、本来の対象から、より脅威が少なく、より受け入れやすい代替物へと転換したり、置き換えたりすることである。

問 28 入院中の患児の心理について、正しいのはどれか。

1. 乳児期は、母親から離されることによって予期不安が生じやすい。
2. 幼児期は、怒りの爆発や治療の拒否がみられることがある。
3. 学童期前半は、病気や治療の意味を十分に理解できることが多い。
4. 思春期は、医療者に対し積極的に質問をすることが多い。

- 問 29 慢性期にある患者の心理的特徴でないのはどれか。
1. 経済的不安
  2. 自己の存在の否定
  3. 完治しないことへの絶望感
  4. 生命の危機に対する不安
- 問 30 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 平成28年（2016年）の国民生活基礎調査によると、65歳以上の者の6割以上が医療施設などに通院している。
  2. 医療費の自己負担割合は、年齢・所得によって定められている。
  3. 生活習慣病の発症予防として、三次予防に重点を置いた対策が進められている。
  4. 医療保険者に、40～74歳の被保険者と被扶養者に対する特定健康診査・特定保健指導の実施が義務付けられている。
- 問 31 次のうち、正しいのはどれか。
1. 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」の対象に、難病の患者も含まれる。
  2. 新オレンジプランは、子育て支援のための施策である。
  3. 市町村保健センターは、地域保健法により設置が義務付けられている。
  4. 児童相談所は、市町村ごとに設置される。
- 問 32 「母子保健法」に規定されていないのはどれか。
1. 妊娠の届出
  2. 未熟児の訪問指導
  3. 受胎調節の実地指導
  4. 母子健康包括支援センターの設置
- 問 33 次のうち、正しいのはどれか。
1. 保健師は業務独占である。
  2. 看護師は助産を行うことができる。
  3. 准看護師の免許取得後5年以上業務に従事すれば、看護師養成における通信制の課程を受験できる。
  4. 助産師が記載する助産録は、5年間保存しなければならない。
- 問 34 ヴァージニア・ヘンダーソン（Henderson, V.）による14の基本的欲求（ニード）に含まれないのはどれか。
1. 正常に呼吸する。
  2. 自己の感情・欲求・恐怖あるいは気分を表現して、他者とコミュニケーションを持つ。
  3. 自分にとって良好な状態を維持するため、一生を通じて個人がセルフケアを行う。
  4. 達成感をもたらすような仕事をする。

- 問 35 次のうち、正しいのはどれか。
1. アルマ・アタ宣言で、ヘルスプロモーションが定義された。
  2. 世界保健機構（WHO）憲章の前文で、健康が定義されている。
  3. 国際生活機能分類（ICF）は、人間の生活機能を「心身機能・構造」「活動」の2つに分類している。
  4. QOLは、保健医療サービスのシステムである。
- 問 36 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 機能別看護方式は、看護業務別に数人の看護職が業務を分担することである。
  2. チームナーシングは、チームリーダーの指揮のもと、看護師、准看護師、看護補助者などで構成されたチームで看護を行うことである。
  3. プライマリナーシングは、1つの病棟内を2つ以上のチームに編成し、チームの看護師をさらに数人ずつのモジュールに分け、この単位で一定期間看護を行うことである。
  4. 受け持ち看護方式は、1勤務時間内に、1人の看護師が1人または数人の患者を受け持ち、その患者に関する看護を行うことである。
- 問 37 次のうち、誤っているのはどれか。
1. インシデントは、思いがけない出来事が起こり、これに対し適切な処理が行われないと、事故になる可能性があることがらである。
  2. SHELモデルは、過失事故の分析方法である。
  3. 標準予防策（スタンダードプリコーション）は、感染症の患者のみに適用する。
  4. 院内感染予防は、病院に関わるすべての人々が共通認識を持ち、感染対策を行うことが重要である。
- 問 38 次のうち、正しいのはどれか。
1. 患者に関する報告・記録のやり取りは、看護職と看護職の間のみで行う。
  2. 看護記録には、看護計画は含まれない。
  3. 電子カルテを使用する際は、患者情報の保護について留意する。
  4. 准看護師の守秘義務は、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」で定められている。
- 問 39 ボディメカニクスの原則について、誤っているのはどれか。
1. 大きな筋群を使う。
  2. 重心の位置を高くする。
  3. 支持基底面積を広くする。
  4. てこの原理を活用する。
- 問 40 移動・移送の援助について、適切でないのはどれか。
1. 歩行介助をするときは、患者の患側の斜め後方に立つ。
  2. 車椅子への移乗を介助するときは、ベッドに対して90度の角度で車椅子を配置する。
  3. 車椅子で段差を上がるときは、前輪を持ち上げ段差を越える。
  4. ストレッチャーで斜面を下るときは、足側から先に進む。

- 問 41 医療安全対策として、誤っているのはどれか。
1. フルネームにより患者を確認する。
  2. 複数患者に使用する薬剤は、まとめて1つのトレイに準備する。
  3. 与薬の際はダブルチェックを行う。
  4. 医薬品や用具の点検使用及び改良を行う。
- 問 42 抑制について、誤っているのはどれか。
1. 医師が切迫性・代替性・一時性を基準として判断する。
  2. 患者もしくは家族に説明して同意を得てから実施する。
  3. 実施理由、実施方法、患者の反応などを記録に残す。
  4. 抑制帯を使用するときは、患者の行動や血行障害などを観察する。
- 問 43 ジャパン-コーマスケール（JCS）で「痛み刺激に対し、覚醒せず払いのけるような動作をする」と定義されるのはどれか。
1. I-3
  2. II-20
  3. III-100
  4. III-300
- 問 44 次のうち、主観的情報はどれか。
1. 呼吸数
  2. 皮膚の色調
  3. 苦悶様の顔貌
  4. 息苦しさ
- 問 45 成人の安静時のバイタルサインとその判断について、正しい組合せはどれか。
1. 体温36.5℃ ————— 低体温
  2. 血圧128/84mmHg —— 高血圧
  3. 脈拍116回/分 —— 頻脈
  4. 呼吸数18回/分 —— 頻呼吸
- 問 46 病室の環境について、誤っているのはどれか。
1. 自然換気は空気の温度差を利用する。
  2. 快適で身体的に負担の少ない環境の気温を至適温度という。
  3. 療養施設のある地域に求められる昼の音環境は、70デシベル以下である。
  4. 病室で最低限維持すべき照度は、100ルクスである。
- 問 47 次のうち、「開かれた質問」はどれか。
1. 食欲はありますか。
  2. どちらが好きですか。
  3. 退院後はどんなことをしたいですか。
  4. 頭は痛いですか。

問 48 食事介助について、誤っているのはどれか。

1. 患者が食事を見わたせる位置に配膳する。
2. ファーラー位の場合は頸部を後傾させる。
3. 片麻痺がある場合は健側から介助する。
4. 食事摂取量を確認する。

問 49 次のうち、正しいのはどれか。

1. 健康な成人は、1日の尿量のうち60%が昼間に排泄される。
2. 健康な成人は、食後24～72時間で便が排泄される。
3. 膀胱に尿を溜めておくことができず漏らしてしまう状態を、排尿困難という。
4. 腹部全体に痛みがあり排便が頻回になる状態を、裏急後重（しぶり腹）という。

問 50 ストーマについて、誤っているのはどれか。

1. 尿路に造設されたストーマをウロストミーという。
2. 結腸に造設されたストーマをコロストミーという。
3. 排泄物は失禁状態となる。
4. ストーマを造設した患者は、生活が制限される。

問 51 次のうち、適切なのはどれか。

1. 清拭中は、ベースン（洗面器）の湯の温度を42℃以下に保つ。
2. 腹部の清拭は、腸の走行に沿って行う。
3. 女性の陰部洗浄は、肛門から尿道口の方に向けて行う。
4. 仰臥位での口腔ケアは、患者の顔を上に向けて行う。

問 52 次のうち、誤っているのはどれか。

1. 睡眠は、一時的に脳が休息し無意識になる状態をいう。
2. 概日リズム（サーカディアンリズム）は、昼間の覚醒と夜間の睡眠を繰り返すことである。
3. ノンレム睡眠は、夢を見ることが多い。
4. ヒトの睡眠周期は、1.5～2時間である。

問 53 次のうち、正しいのはどれか。

1. 腹臥位での褥瘡好発部位の1つに、大転子部がある。
2. 失禁や多汗による皮膚の湿潤は、褥瘡の発生要因となる。
3. 米国褥瘡諮問委員会（NPUAP）による褥瘡のステージ分類では、皮下組織より深い組織の損傷が疑われる所見がある状態はステージ I に分類される。
4. ブレーデンスケールの合計点が高いほど褥瘡のリスクが高い。

問 54 検査に伴う看護について、正しいのはどれか。

1. 同じ患者の検体は、すべての検体が揃ってから検査室に提出する。
2. 24時間蓄尿は、尿を攪拌せず一部を採取する。
3. 胸腔穿刺をファーラー位で行う場合は、穿刺側の上肢を挙上した姿勢をとらせる。
4. 静脈血採血は、針の抜去後に神経損傷によるしびれがないか確認する。



- 問 55 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 経管栄養による栄養補給が長期にわたる場合は、胃瘻・腸瘻が選択される。
  2. 経鼻栄養チューブを固定するときは、鼻腔粘膜に潰瘍ができないように注意する。
  3. 経鼻栄養チューブの挿入の長さは、外鼻孔から外耳孔と、外耳孔から食道までの長さの合計を目安にする。
  4. 中心静脈栄養法で中心静脈カテーテルを挿入するときは、無菌操作で行う。
- 問 56 温罨法の目的について、誤っているのはどれか。
1. 身体の保温
  2. 血管収縮による血流量の低下
  3. 排便・排ガスの促進
  4. 急性期を過ぎた炎症部位の治癒促進
- 問 57 成人の浣腸について、正しいのはどれか。
1. 駆風浣腸は、排ガスを促すために行う。
  2. 患者が希望した場合は、立位で行う。
  3. 浣腸液の温度が低すぎると血圧が低下する。
  4. 浣腸液の注入速度は、3秒間で20mLを目安に行う。
- 問 58 持続的導尿について、正しいのはどれか。
1. 目的の1つに、陰部周囲の創部の汚染防止がある。
  2. 消毒されたネラトンカテーテルを使用する。
  3. 男性の場合は、陰茎を足元に向けてカテーテルを固定する。
  4. 蓄尿バッグは床に置く。
- 問 59 成人の胃洗浄について、正しいのはどれか。
1. 洗浄液の1回注入量は200～300mLとする。
  2. 患者は右側臥位にする。
  3. 漏斗の高さは胃の位置から70cmとする。
  4. 胃管は14～16Frの管を用いる。
- 問 60 腹腔穿刺とその看護について、誤っているのはどれか。
1. 穿刺部位は、モンロー-リヒター線の中央または臍窩から2/3の位置である。
  2. 検査前は膀胱に尿を溜めておくように伝える。
  3. 排液中はショックに注意する。
  4. 穿刺の前後で腹囲測定を行う。
- 問 61 胸腔内持続吸引時の看護について、誤っているのはどれか。
1. 胸腔ドレーンを挿入するため、体動の制限があることを事前に説明する。
  2. 吸引中は、水封室の液面の動きで呼吸性移動を観察する。
  3. 吸引中は、ドレーンバッグがドレーン挿入部より低い位置にあることを確認する。
  4. 吸引圧は、看護師の判断で調整する。

- 問 62 噴霧吸入について、正しいのはどれか。
1. 低酸素血症の改善や予防を目的として行われる。
  2. 患者の体位は仰臥位が望ましい。
  3. 超音波ネブライザーは、薬液を微細な粒子にし、肺胞まで到達させることができる。
  4. 全身に作用させる治療方法である。
- 問 63 急性期の特徴と患者・家族への看護について、正しいのはどれか。
1. 医療処置の必要度は低い。
  2. 意識がない場合も、声をかけながら処置を行う。
  3. 家族には病状が変化したときに限り説明を行う。
  4. 日常生活援助は急性期を脱してから行う。
- 問 64 慢性期の特徴と患者・家族への看護について、正しいのはどれか。
1. 病状は安定すれば悪化することはない。
  2. 患者自身が主体的に生活改善し、セルフケアできるように援助する。
  3. 患者・家族に及ぼす身体的・心理的・社会的影響は少ない。
  4. 家族には生活の工夫の協力を求めない。
- 問 65 チーム医療について、正しいものの組合せはどれか。
- a. 医師中心のチーム体制で医療を提供する。
  - b. 構成メンバーは、医師・看護師・薬剤師のみである。
  - c. 看護師はチーム内の調整役としての役割が期待される。
  - d. 多職種が情報共有・連携し、医療を提供する。
1. aとb    2. aとc    3. bとd    4. cとd
- 問 66 継続看護について、誤っているのはどれか。
1. 病棟から外来へ情報を共有し、必要なケアを継続する。
  2. 他施設に転院する場合は、看護要約などの文書で情報を伝達するとよい。
  3. 退院調整は患者と看護師だけで行う。
  4. インフォームド・コンセントは必要である。
- 問 67 死の三徴候でないのはどれか。
1. 呼吸停止
  2. 心停止
  3. 体温の低下
  4. 瞳孔散大・対光反射の消失
- 問 68 次のうち、全身麻酔はどれか。
1. 表面麻酔
  2. 伝達麻酔
  3. 静脈麻酔
  4. 硬膜外麻酔

- 問 69 次のうち、正しいのはどれか。
1. 緩和ケアは終末期にならないと受けられない。
  2. キューブラ・ロス (Kubler-Ross, E.) は、死の受容段階を 4 段階に分類した。
  3. 終末期患者は社会資源が利用できない。
  4. 死後の処置 (エンゼルケア) は、宗教や慣習に配慮して行う。
- 問 70 浮腫のある患者の特徴と看護について、正しいのはどれか。
1. 潜在性浮腫は、下肢などの皮膚を指先で圧迫した際に圧痕が生じる。
  2. 随伴症状として、皮膚温の上昇がみられる。
  3. 柔らかい素材の衣類を選ぶ。
  4. 塩分の摂取を促す。
- 問 71 悪心・嘔吐のある患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. 嘔吐の発現状況や随伴症状を観察する。
  2. 臥床時に嘔吐した場合は、体位を側臥位にする。
  3. 吐物や汚染された寝衣は速やかに片づける。
  4. 嘔吐後のうがいは控えるように説明する。
- 問 72 脱水のある患者の特徴と看護について、正しいのはどれか。
1. 脱水状態が進行すると腎不全に陥ることがある。
  2. ナトリウム欠乏性脱水は、口渇や皮膚・粘膜の乾燥が現れやすい。
  3. 水欠乏性脱水は、尿量が減少しない。
  4. 成人の場合は、飲水を 1 日 3 L 以上勧める。
- 問 73 安静療法について、誤っているのはどれか。
1. エネルギー代謝が抑制される。
  2. 心臓への負担が減る。
  3. 肝臓への血流量が減る。
  4. 酸素消費量が減る。
- 問 74 輸液療法について、誤っているのはどれか。
1. 目的の 1 つに、体液の恒常性の維持がある。
  2. 末梢静脈法は、高濃度・高浸透圧の輸液を行う場合に適している。
  3. 刺入部の発赤・熱感・疼痛・腫脹・膿瘍形成の有無を観察する。
  4. 輸液量が多い場合は、浮腫や心不全を生じやすい。
- 問 75 手術前の看護について、誤っているのはどれか。
1. 手術前オリエンテーションの目的の 1 つは、手術に対する不安を軽減することである。
  2. 呼吸訓練を行うように促す。
  3. 腹部の手術の場合は、臍処置を行う。
  4. 手術前日は清拭やシャワー浴を行わない。

- 問 76 一次救命処置について、正しいのはどれか。
1. AEDは医療者のみが使用できる。
  2. 胸骨圧迫は1分間あたり100～120回のテンポで行う。
  3. AEDを装着し、心電図解析で電気ショックの必要がない場合は、胸骨圧迫を行わない。
  4. 電気ショックが必要な場合は、患者の脈拍に触れながら、ショックボタンを押す。
- 問 77 ハヴィガーストによる青年期の発達課題で、正しいのはどれか。
1. 男性あるいは女性としての社会的役割を獲得する。
  2. 自分の余暇時間を充実させる。
  3. 家庭を管理する。
  4. 社会的役割を柔軟に受け入れて、それに適応する。
- 問 78 次のうち、生活習慣病でないのはどれか。
1. 高血圧
  2. 2型糖尿病
  3. A型肝炎
  4. 慢性腎臓病（CKD）
- 問 79 呼吸器疾患とその検査について、正しい組合せはどれか。
1. サルコイドーシス ————— カプトプリル負荷試験
  2. 夏型過敏性肺炎 ————— ポリソムノグラフィー
  3. 肺血栓塞栓症（PTE） ————— クオンティフェロン検査
  4. 慢性閉塞性肺疾患（COPD） —— スパイロメトリー
- 問 80 呼吸器疾患の治療薬について、正しい組合せはどれか。
1. レジオネラ肺炎 ————— セフェム系抗生剤
  2. 間質性肺炎 ————— マクロライド
  3. びまん性汎細気管支炎（DPB） —— 長時間作用型抗コリン剤
  4. 肺クリプトコッカス症 ————— 抗真菌薬
- 問 81 肺気腫症患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. ネブライザーの使用による排痰援助を行う。
  2. 胸式呼吸の指導を行う。
  3. 呼吸困難による苦痛がある場合は頻回に訪室し、不安の軽減に努める。
  4. CO<sub>2</sub>ナルコーシスに注意する。
- 問 82 気胸患者の看護について、正しいのはどれか。
1. 呼吸時の胸痛の有無を確認する。
  2. 深呼吸を促す。
  3. 喫煙してもよいと説明する。
  4. 再発の危険はないと説明する。

- 問 83 左心不全の症状はどれか。
1. 肝腫大
  2. 頸静脈怒張
  3. 腹水
  4. 起座呼吸
- 問 84 次のうち、徐脈性不整脈の治療はどれか。
1. 恒久的ペースメーカー
  2. カテーテルアブレーション
  3. 経皮的冠状動脈インターベンション（P C I）
  4. 植え込み型除細動器（I C D）
- 問 85 急性心筋梗塞の特徴と看護について、誤っているのはどれか。
1. 心電図上のS T波の変化に注意する。
  2. C K（C P K）値の上昇がみられる。
  3. 胸痛の部位・持続時間を確認する。
  4. 心臓リハビリテーションは退院後から開始する。
- 問 86 狭心症の特徴と看護について、正しいのはどれか。
1. 冠動脈の閉塞により、心筋が壊死した状態である。
  2. 異型狭心症は、肉体活動などの労作時に起こることが多い。
  3. 胸痛発作は数時間で消失する。
  4. 胸痛発作時は、ニトログリセリン錠を舌下するように指導する。
- 問 87 食道がんについて、誤っているのはどれか。
1. ほとんどが腺がんである。
  2. 早期では自覚症状がないことが多い。
  3. 男性に多い。
  4. 外科的手術後の合併症に、反回神経麻痺による誤嚥がある。
- 問 88 消化器症状のある患者の看護について、適切でないのはどれか。
1. 吐血時は胃部の冷罨法を行う。
  2. 嘔吐時は背部を軽くマッサージする。
  3. 下痢のときは、排便後に温水で肛門周囲を洗浄する。
  4. 腹水が貯留しているときの体位は、仰臥位が適している。
- 問 89 肝硬変について、適切でないのはどれか。
1. 黄疸は眼球結膜の色調を見るとわかりやすい。
  2. 羽ばたき振戦は、血中アンモニアの低下を伴うことが多い。
  3. 腹水が出現すると非代償期と考える。
  4. 肝性脳症は便秘により悪化する。

- 問 90 骨髄検査を受ける患者の看護について、正しいのはどれか。
1. 骨髄液の吸引時に痛みを感じることはないと説明する。
  2. 検査終了後は、10 分間安静臥床するように説明する。
  3. 検査終了後は、穿刺部の出血の有無を観察する。
  4. 検査を受けた日の入浴は可能であると説明する。
- 問 91 造血器腫瘍に対する化学療法時の看護について、適切でないのはどれか。
1. 口内炎が出現する前からうがいを勧める。
  2. 骨髄抑制期は加熱食を提供する。
  3. 脱毛しても再び生えてくることを説明する。
  4. 治療が終了するまでシャワー浴は禁止する。
- 問 92 出血傾向のある患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. 運動を促す。
  2. 排便を調整し、努責を避けるように指導する。
  3. 清拭時は皮膚を強くこすらないようにする。
  4. 採血時は、駆血帯による圧迫を最小限にする。
- 問 93 膠原病患者の看護について、正しいのはどれか。
1. 全身性エリテマトーデス（SLE）患者には、直射日光を浴びるように指導する。
  2. 保温に努め、レイノー現象を予防する。
  3. 関節リウマチ患者には、関節運動を行わないように指導する。
  4. 関節リウマチ患者には、自助具を使用しないように指導する。
- 問 94 アレルギーについて、誤っているのはどれか。
1. I 型アレルギーは即時型アレルギーともいう。
  2. アレルギー性接触皮膚炎はIV型アレルギーである。
  3. アナフィラキシーショック時は血圧が上昇する。
  4. アトピー性皮膚炎は血中 I g E が高値となる。
- 問 95 ホルモンと作用について、正しい組合せはどれか。
1. プロラクチン（PRL） ————— 利尿促進
  2. トリヨードサイロニン（T<sub>3</sub>） ———— 基礎代謝促進
  3. バソプレシン（ADH） ————— 乳汁分泌促進
  4. カルシトニン ————— 血中カルシウム上昇
- 問 96 糖尿病について、正しいのはどれか。
1. グリコアルブミンは、過去 2 か月間の平均血糖値の指標である。
  2. 糖尿病性ケトアシドーシスは、2 型糖尿病患者に多くみられる。
  3. 妊娠中の血糖コントロールには、経口血糖降下薬が適している。
  4. 運動療法として有酸素運動が適している。

問 97 意識障害のある患者の看護について、誤っているのはどれか。

1. 舌根沈下や誤嚥を防ぐ。
2. 皮膚や粘膜の清潔を保つ。
3. 体幹及び四肢の抑制を必ず行う。
4. 患者・家族の訴えを傾聴する。

問 98 パーキンソン病について、正しいものの組合せはどれか。

- a. ドパミンの不足により、運動機能に障害が現れる。
- b. 四大徴候は、安静時振戦・筋固縮・無動・姿勢反射障害である。
- c. 脳CTまたはMRIで、脳の萎縮が著明にみられる。
- d. 治療法としてホルモン療法がある。

1. a と b
2. a と c
3. b と d
4. c と d

問 99 腎盂腎炎患者の看護について、正しいのはどれか。

1. 積極的な運動を勧める。
2. 自己判断で抗菌薬の使用を中断しないように説明する。
3. 悪寒戦慄時は冷罨法を行う。
4. 飲水を制限するように説明する。

問 100 血液透析を受ける患者の指導について、誤っているのはどれか。

1. 体重のコントロールについて説明する。
2. シヤントの音や血流の確認方法を説明する。
3. 食事は、脂質を制限するように説明する。
4. 血圧は、一定条件で測定し記録するように説明する。

問 101 ギプス固定中の看護について、誤っているのはどれか。

1. 患肢を下垂させておくように指導する。
2. 腫脹と痛みが強くなる場合は、直ちに医師に報告する。
3. 知覚異常の有無を定期的に観察する。
4. 患部以外の運動訓練を促し、筋萎縮・関節拘縮を予防する。

問 102 大腿骨頸部骨折について、誤っているのはどれか。

1. 高齢者が転倒して起こる場合が多い。
2. 内側骨折では、主に観血的整復内固定術が行われる。
3. 腓骨神経麻痺の症状として、足関節や母趾の運動障害の有無を観察する。
4. 人工骨頭置換術後は、脱臼肢位に注意する。

問 103 牽引療法中の看護について、正しいのはどれか。

1. 重錘は、看護師の判断で重さを調節する。
2. スピードトラック牽引は、1週間に1回包帯の巻き直しを行う。
3. 食事はできるだけ自分で食べられるように工夫する。
4. 体位変換は行わない。

- 問 104 不正性器出血のうち、機能性出血の特徴はどれか。
1. 原因はポリープやがんである。
  2. 思春期や更年期に起こりやすい。
  3. 強度の貧血に陥ることはない。
  4. 排卵に伴って出血するが多い。
- 問 105 内診時の看護について、誤っているのはどれか。
1. 体位はシムス位とする。
  2. 下半身を掛布で覆うなどして、患者の羞恥心に配慮する。
  3. 診察時は、口呼吸をしてリラックスするように声をかける。
  4. 診察後は、診察で行った検査・処置についての注意事項を説明する。
- 問 106 結核について、誤っているのはどれか。
1. 結核菌の検出には、喀痰検査が重要である。
  2. 結核患者が発生した場合は、保健所に届け出なければならない。
  3. リファンピシン（RFP）の副作用に、視力障害がある。
  4. 医療従事者によるDOTS（Directly Observed Treatment, Short-course：直接服薬確認療法）体制が強化されている。
- 問 107 次のうち、正しいのはどれか。
1. HIV感染者は、症状がなければ感染予防の必要はない。
  2. 帯状疱疹は主に小児期にみられる。
  3. 梅毒の第一選択薬は、ペニシリン系抗菌薬である。
  4. 風疹の潜伏期間は2～3日である。
- 問 108 アトピー性皮膚炎とその看護について、誤っているのはどれか。
1. 副腎皮質ステロイド外用薬や、抗アレルギー薬の内服による治療が選択されることが多い。
  2. 皮膚感染症を合併しやすい。
  3. 外見上の変化によるストレスに対して、精神面への援助が必要である。
  4. 皮膚は乾燥した状態を保つように説明する。
- 問 109 熱傷とその看護について、正しいのはどれか。
1. 成人の場合は、熱傷の受傷面積の把握に5の法則が用いられる。
  2. 広範囲熱傷の場合は、48時間以内にショックを起こすことはない。
  3. 第3度熱傷は、強い痛みを感じる。
  4. 包帯交換時は、浸出液の量・臭気・色調を観察する。
- 問 110 次のうち、正しいのはどれか。
1. 白内障は、硝子体が混濁する疾患である。
  2. 緑内障の診断には、眼位検査が重要である。
  3. 眼科レーザー手術後は、絶対安静が必要である。
  4. 糖尿病網膜症は、網膜剥離を起こすと失明につながる。



- 問 111 次のうち、正しいのはどれか。
1. 鼻出血は、下鼻甲介から出血することが多い。
  2. アレルギー性鼻炎の主な原因は、自律神経失調である。
  3. 急性中耳炎は、鼻咽頭細菌が耳管を経て中耳に感染することで起こる場合が多い。
  4. 外耳に病変がある場合は、感音性難聴になる。
- 問 112 次のうち、正しいのはどれか。
1. う蝕症第1度（C<sub>1</sub>）はゾウゲ質のう蝕である。
  2. 歯列の矯正は嚥下機能を改善させる。
  3. 慢性歯周炎（歯周病）の原因に、歯石・歯垢の沈着がある。
  4. エナメル上皮腫の多くは悪性である。
- 問 113 知的機能と加齢による変化について、正しいのはどれか。
1. 流動性知能には、想像力や洞察力がある。
  2. 流動性知能は、老年期までに上昇し、その後も保持される。
  3. 結晶性知能には、記銘力や想起力がある。
  4. 結晶性知能は、老年期以降も低下しにくい。
- 問 114 次のうち、高齢者虐待でないのはどれか。
1. アドボケイト
  2. 暴言
  3. 財産の不当処分
  4. 長時間の放置
- 問 115 平成28年（2016年）の国民生活基礎調査における要介護者などからみた主な介護者の状況として、正しいのはどれか。
1. 介護者は、同居より別居の家族の方が多い。
  2. 要介護者などとの続柄は、子が最も多い。
  3. 同居している主な介護者の約7割は、女性である。
  4. 同居している主な介護者の過半数は、70歳以上である。
- 問 116 介護保険制度について、正しいのはどれか。
1. がんの末期状態にある50歳の者は、要介護認定を申請することができる。
  2. 要介護3の認定を受けた者は、特別養護老人ホームへ入居できない。
  3. 保険者は都道府県である。
  4. 地域包括支援センターには、保健師・介護福祉士・主任介護支援専門員の配置が定められている。
- 問 117 高齢者とのコミュニケーションについて、適切でないのはどれか。
1. 常に大きな声で話す。
  2. ゆっくりと適度に間をもって話す。
  3. その人に合った眼鏡・補聴器・義歯などの使用を勧める。
  4. 視線・表情・手の動きなど言語以外の方法も活用する。

- 問 118 高齢者のための国連の5原則「自立の原則・参加の原則・ケアの原則・自己実現の原則・( )」の( )に入るのはどれか。
1. 善行の原則
  2. 公正の原則
  3. 尊厳の原則
  4. 無危害の原則
- 問 119 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 介護老人福祉施設は、日常生活の延長として安らかな看取りを行うことが望まれている。
  2. 介護老人保健施設は、リハビリテーションを中心とした在宅復帰を支援する施設である。
  3. グループホーム(認知症対応型共同生活介護)は、認知症の要介護者・高齢者などが共同生活を行う施設である。
  4. 看護小規模多機能型居宅介護は、小規模多機能型居宅介護と訪問介護の機能を有した複合型サービスである。
- 問 120 褥瘡の予防とケアについて、誤っているのはどれか。
1. 車椅子での座位は、股関節・膝関節・足関節が90度となるようにする。
  2. 臥位ときは、60度側臥位が適している。
  3. その人に合わせた栄養摂取を検討する。
  4. 体圧分散寝具を用いて体圧分散を行う。
- 問 121 加齢に伴う変化について、正しいのはどれか。
1. 唾液分泌量は増加する。
  2. 筋力は増加する。
  3. 嚥下反射(嚥下機能)は低下する。
  4. 温度や痛みに対する感覚は変化しない。
- 問 122 義歯の取り扱いについて、正しいのはどれか。
1. 総義歯は上(上顎)からはずす。
  2. 総義歯は下(下顎)からつける。
  3. 就寝時は義歯をはずす。
  4. 保管時は義歯を乾燥させた状態にしておく。
- 問 123 高齢者の転倒要因のうち、外的要因はどれか。
1. 感覚器の変化
  2. 過去の転倒経験
  3. 歩行補助具
  4. 認知の障害

- 問 124 高齢者の呼吸困難への応急処置として、誤っているのはどれか。
1. 体位は仰臥位とする。
  2. 分泌物が貯留している場合は、吸引や体位ドレナージを行う。
  3. 誤嚥が考えられる場合は、分泌物や食物を除去したあと、気道確保を行う。
  4. 手を握ったり背中をさすったりし、不安の軽減に努める。
- 問 125 次のうち、高齢者への個別アクティビティケアはどれか。
1. 誕生会
  2. フットケア
  3. 茶話会
  4. 伝統行事
- 問 126 高齢者に対する薬剤の服用指導について、誤っているのはどれか。
1. 食後薬・時間薬・頓服薬など服用方法によって、くすり袋を色分けする。
  2. 患者だけでなく、家族や介護者にも服用方法や副作用について説明する。
  3. 副作用があっても、次の受診まで服用を継続するように指導する。
  4. 坐薬と一緒に内服薬が処方された場合は、坐薬を内服しないように説明する。
- 問 127 胎児付属物について、正しいのはどれか。
1. 胎盤は妊娠16週までに完成する。
  2. 臍帯の中には、1本の臍動脈と2本の臍静脈がある。
  3. 羊水は弱酸性である。
  4. 卵膜は、外側から羊膜、脱落膜、絨毛膜の3層で構成されている。
- 問 128 正常に経過している分娩第1期の看護について、正しいのはどれか。
1. 排尿は5～6時間ごとに促す。
  2. 食事は禁止する。
  3. 仰臥位で安静にするように説明する。
  4. 陣痛発作時は、産婦に声をかけながら一緒に呼吸法を実践する。
- 問 129 産褥期の生理と看護について、正しいのはどれか。
1. 正常分娩の場合は、産褥3日目からシャワー浴を勧める。
  2. 後陣痛は、分娩直後から2～3週間後まで続く。
  3. 児の吸啜刺激によって、下垂体後葉からオキシトシンが分泌される。
  4. 授乳時は、乳頭を浅く含ませるように説明する。
- 問 130 切迫早産の特徴とその看護について、誤っているのはどれか。
1. 妊娠22週未満までに起こる。
  2. 下腹部の緊満感、下腹部痛、出血・破水を観察する。
  3. 安静に伴う制限に対して、基本的な日常生活の支援を行う。
  4. 子宮収縮抑制剤の投与時は、体熱感や動悸など副作用の発現に注意する。

- 問 131 フリードマン曲線について、誤っているのはどれか。
1. 分娩第2期の特徴を示したものである。
  2. 子宮口開大が緩徐な時期を、潜伏期という。
  3. 子宮口が4 cm開大したあと、開大速度は急速になる。
  4. 原発性微弱陣痛では、潜伏期が延長する。
- 問 132 弛緩出血とその看護について、誤っているのはどれか。
1. 産科ショックの原因となる。
  2. 出血量を正確に測定する。
  3. バイタルサインの測定は、1時間ごとに行う。
  4. 血圧低下と頻脈に注意する。
- 問 133 ネフローゼ症候群の症状について、誤っているのはどれか。
1. 全身性の浮腫
  2. 高たんぱく血症
  3. 高コレステロール血症
  4. 高たんぱく尿
- 問 134 乳児の救急処置について、誤っているのはどれか。
1. 心肺蘇生を1人で行う場合は、胸骨圧迫30回に対して2回の割合で人工呼吸を行う。
  2. 熱中症で経口から水分摂取ができない場合は、早急に輸液を行う。
  3. アルカリの強い洗剤を誤飲した場合は、吐き出させる。
  4. 頭部の打撲は、検査結果に問題がなくても2～3日は観察が必要である。
- 問 135 循環器疾患の乳児の看護について、誤っているのはどれか。
1. 児の不快や不満を取り除き、啼泣をできるだけ避ける。
  2. ファロー四徴症にみられる無酸素発作時は、体位を膝胸位にする。
  3. 利尿薬の投与中は、水分を欲しがらだけ飲ませる。
  4. 授乳時は、ときどき休ませながら飲ませる。
- 問 136 わが国における平成29年（2017年）の4歳以下の死因第1位はどれか。
1. 不慮の事故
  2. 悪性新生物
  3. 先天性奇形、変形及び染色体異常
  4. 乳幼児突然死症候群
- 問 137 1歳児の身体的・生理的特徴として、誤っているのはどれか。
1. モロー反射は消失している。
  2. 小泉門は閉じている。
  3. 脈拍数は80～90回/分である。
  4. 乳中切歯が萌出している。

- 問 138 次のうち、予防接種法で定められている小児の定期接種はどれか。
1. インフルエンザ
  2. 結核（BCG）
  3. ロタウイルス
  4. 流行性耳下腺炎
- 問 139 学童期の特徴や発達課題として、正しいのはどれか。
1. 自我同一性の確立
  2. ギャングエイジ
  3. ピーターパン症候群
  4. 第一反抗期
- 問 140 患者－看護師関係について、正しいのはどれか。
1. ラポールの形成に努めることは望ましくない。
  2. 患者の話に対しては、同情的に接する。
  3. 状況に合わせた距離のとり方が大切である。
  4. 患者が、敵意や不信などの感情や態度を看護師に向けることを、逆転移という。
- 問 141 躁状態で主にみられる症状はどれか。
1. 滅裂思考
  2. 思考抑制（思考制止）
  3. 観念奔逸（思考奔逸）
  4. 思考伝播（考想伝播）
- 問 142 精神科病院における患者への対応について、正しいのはどれか。
1. 看護師の判断で身体的拘束を行ってもよい。
  2. 身体的拘束を実施する際は、医療従事者を複数人集めて行う。
  3. 緊急時は、同一の隔離室（保護室）に2名を収容してもよい。
  4. 隔離室（保護室）への所持品の持ち込みを制限してはならない。
- 問 143 次のうち、正しいのはどれか。
1. 妄想は統合失調症だけにみられる。
  2. せん妄は意識障害を伴わない。
  3. 認知症において見当識の障害はみられない。
  4. パニック発作時は動悸・めまいなどがみられる。
- 問 144 抗精神病薬による副作用のうち、じっとしてられず、歩き回るなどして落ち着かないという症状はどれか。
1. 悪性症候群
  2. アカシジア
  3. 遅発性ジスキネジア
  4. ジストニア

- 問 145 次のうち、正しいのはどれか。
1. 幻覚・妄想状態の患者に対しては、全面的に否定する。
  2. 興奮状態の患者に対しては、命令的・威圧的に対応する。
  3. 認知症患者に対しては、その人らしさを尊重し、敬意をもって接する。
  4. 抑うつ状態の患者に対しては、常に励ます。
- 問 146 うつ病患者が、事実と反して「私は皆に迷惑をかけている悪い人間です」と話し、妄想症状がある場合、その症状は次のうちどれか。
1. 関係妄想
  2. 罪業妄想
  3. 心気妄想
  4. 注察(注視)妄想
- 問 147 次のうち、正しいのはどれか。
1. 抗精神病薬は、統合失調症以外にも使用する。
  2. 電気けいれん療法は、うつ病以外では行わない。
  3. 光刺激療法は、うつ病に対して効果がない。
  4. 認知療法は、認知症に対する治療法である。
- 問 148 次のうち、精神保健指定医の診察を必要としないのはどれか。
1. 応急入院
  2. 医療保護入院
  3. 措置入院
  4. 任意入院
- 問 149 アルコール離脱症候群の症状として、正しいのはどれか。
1. 感情鈍麻
  2. 昏迷
  3. 連合弛緩
  4. 振戦せん妄
- 問 150 見当識の評価を行う質問として、適切なのはどれか。
1. 「100から7を引くといくつですか」
  2. 「今日は何月何日ですか」
  3. 「あなたの誕生日はいつですか」
  4. 「あなたの生まれたところはどこですか」